

「カンブリア宮殿」は入局する前に放送されたもので、一視聴者として観ていましたが、学生時代の私にとって衝撃が走ったのを覚えています。

削って詰めを繰り返し、痛くなったら来院を促す歯科医療に対して疑問を持ちました。

そして、歯科衛生士はここまでできるのかと驚き、1番近くで生涯口腔の健康を守ることの手助けができるのだと嬉しく思いました。

現在、新卒で入局し、既にシステムが構築された日吉歯科で勤務でき、恵まれた環境の中で過ごしながら日々勉強させていただいていることに感謝しています。そして思うことはU20の重要性です。過去に熊谷先生が学校医として小学校教育や地域の取り組みに力を入れたように、U20では本人もですが、家族の協力も大事になってきます。幼い頃から歯医者に行く習慣・連れていく習慣・歯を磨く習慣など身につけておくと、カリエスになることなく、一生自分の歯で食事し、歯で困ることもないと実感しています。そのきっかけ（糸口）がU20だと思います。

「命の寿命と歯の寿命を逆転させる」ために重要な鍵を握っていると感じました。

歯科にとどまることなく、全身の健康に着目し、福利厚生やクラウドなど他の企業を巻き込んだ活動でさらに日吉歯科での取り組みを多くの人知のきっかけになり、健康意識の向上につながっていると感じています。

たくさんの方のQOLの向上の手助けとなれるよう、私自身、先輩衛生士の方々のように、手を抜かず試行錯誤しながら努力していきたいと思っています。

私の知らない日吉歯科や熊谷先生・先輩衛生士の努力と苦勞がつまっているすばらしい本でした。

今ある環境があたり前ではないと改めて気づいたので、今まで以上に勉強し、知識を増やしていきたいです。

歯科衛生士としてできることは計り知れないと思いました。